

平成 25 年度 第 3 回理事会抄録

日時：平成 25 年 6 月 8 日（土）13：00～16：58

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、清水（副会長）、荻原、香山、小林正、陣内、土井、東、三澤、山本（常務理事）、大庭、小川、苺山、小林毅、高島、谷、藤井、宮口、森（理事）、古川、長尾、早川（監事）、

傍聴：佐藤善、大丸（前理事）、岩崎（前監事）、富岡（WFOT 代表）、五百川（規約委員長）、佐藤大（総会議事運営委員長）、岩佐（都道府県士会連絡協議会長）

I 審議事項

1. 平成 25 年度部署担当者（事務局・部長の選任）について（中村会長）

平成 25 年度部署担当者を選任した。事務局長：荻原、学術部部长：小林正、教育部部长：陣内、制度対策部部长：山本、広報部部长：東、国際部部长：清水、災害対策室室長：香山、士会担当理事：宇田、森、WFOT2014 担当理事：山根、50 周年式典担当理事：清水、50 周年記念誌担当理事：山根 →承認

2. 平成 25 年度・26 年度役員体制（常務理事の選定）について（中村会長）

平成 25 年度・26 年度役員体制を決定した。会長：中村、副会長：山根・清水、常務理事：荻原・香山・小林正・陣内・土井・東・三澤・山本、理事：宇田・大庭・小川・苺山・小林毅・高島・谷・藤井・宮口・森、監事：長尾・早川・古川 →承認

3. 社員総会への対応について（中村会長）

1) 休会規程の施行にあたって 社員総会で出された意見を検討することとし、今年度は原案のまま施行し、必要に応じ次回の定時社員総会に修正案を上程する。 →承認

4. 機関誌編集委員会の設置について（中村会長・荻原事務局長）機関誌編集委員会を広報部内の小委員会として位置づける。 →承認

5. 規約の整備について（荻原事務局長・陣内教育部長・五百川規約委員長）

教育部組織の改編、試験の導入等により、各規程及び細則を変更する。

1) 認定作業療法士制度規程及び細則の改正 認定資格の取り消し、資格再認定について、文言について等の意見が出された。再検討の上、修正案をまとめ次回理事会において審議する。 →継続審議

2) 専門作業療法士制度規定及び細則の改正 認定資格の取り消し等について意見が出された。再検討の上、修正案をまとめ次回理事会において審議する。 →継続審議

6. 平成 24 年度 WFOT 認定等教育水準審査の追加審査について (陣内教育部長)

平成 24 年度の WFOT 認定等教育水準審査において、書類の未達等の不備があったため、追加審査を行った。審査対象校 60 校、合格 34 校、不合格 2 校、未申請 24 校。 →承認

7. 生活行為向上マネジメントの推進体制の構築について (土井常務理事)

グランドデザイン案を検討した。平成 25 年度老人保健健康増進等事業による「質の評価検討事業」を実施する。事業を進めるにあたり、200 万円を協会予算より支出する。 →承認

8. 会員の入退会について (荻原事務局長)

死亡による退会 2 名。会費未納による会員資格喪失後の再度入会希望者 14 名。未納会費は清算済み。 →承認

9. 原発避難会員の会費免除について (荻原事務局長)

震災後、消息不明だったが、連絡が取れた 1 名の会員を含め、2 名の会員から免除申請があった。 →承認

10. 新体制下で検討すべき重要案件について (中村会長)

新体制下で検討すべき重要案件 (組織・人事関連、基本方針関連、事業活動関連) について審議した。 →承認

II 報告事項

1. 監事の任期と今総会における選任の意味について (中村会長)

法制度によれば監事の任期は 4 年で、残余期間は 2 年あるが、当協会としては今総会が一般社団法人移行後初の役員改選であり、新たな執行体制のスタートともなるため、理事の任期満了に合わせて監事についても改選を行った。

2. 平成 25 年度定時社員総会について (佐藤大総会議事運営委員長)

平成 25 年度定時社員総会が 5 月 25 日 (土) 13 : 00 ~ 15 : 50 に日本教育会館 3 階一ツ橋ホールにて開催された。

3. 平成 25 年度役員選任投票報告 (荻原事務局長)

平成 25 年度役員選任投票が 5 月 25 日に行われ新年度の役員が選任された。今後、開票及び集計作業について手法の検討を行う。

4. 教育部報告（陣内教育部長・大庭副部長）

- 1) 認定及び専門作業療法士のピンバッチ及び認定証ホルダーについて ピンバッチと認定証ホルダーを作成した。2013年度新規取得者より送付。既取得者は更新時に送付。
- 2) 認定研修修了試験運用マニュアル(案)について 試験運用マニュアルを作成した。
- 3) 平成 25 年度全国研修会プログラム(確定版) 9/7-9/8 秋田及び 10/26 -10/27 松山において開催 予定。

5. 制度対策部の渉外活動計画案について（山本制度対策部長）

内部障害関連と精神科関連団体を一覧表にまとめた。各団体との交渉を進めていく。

6. 渉外活動報告 文書報告

高島理事：① 5月26日に開催された第1回リンパ浮腫委員会に出席した。②5月31日に開催された第2回リハビリテーション三協会協議会に出席した。

谷理事：南相馬市の浜通り訪問リハビリステーションを訪問した。

小林毅：①6月2日開催のがんのリハビリテーション研修会運営委員会に出席した。②チーム医療推進協議会から開催継続を要望していたチーム医療推進会議が6月26日に開催される。運営委員で対応を協議する。

中村会長：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のあり方を検討する議員連盟が結成される。

7. 第11回協会・都道府県士会合同役職者研修の開催について（森士会担当理事）

7月27日・28日に協会・都道府県士会合同役職者研修会が東京工科大学において開催予定。

8. 日本訪問リハビリテーション協会の決算報告について（中村会長） 文書報告

9. その他 **荻原事務局長：**罰金以上の刑に処せられた医療関係従事者に係る情報の提供依頼が厚労省よりあった。

山根副会長：WFOT 世界大会に3,000以上の演題応募があった。予算不足を補うため8月から機関誌に寄付の振込用紙を同封する。

香山理事：平成24年度老人保健事業推進費等補助金「認知症の初期集中支援サービスの構築に向けた基盤研究事業」事業報告書（平成25年3月 独立行政法人 国立長寿医療研究センター）が公表されており、その内容も参照しつつ、協会の取り組みを進めていく。